

2-3 ガーナ国健康の輪プログラム – UW州住民の健康改善プログラム⁴

1. 協力プログラムの戦略性強化の背景

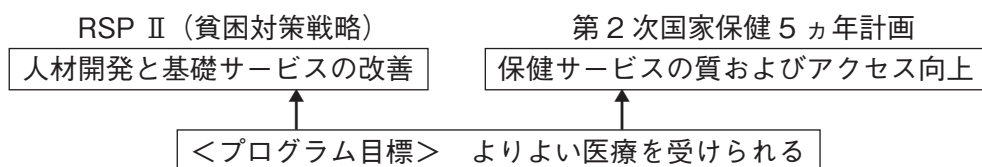
本プログラム対象地域であるアッパーウエスト州（人口62万人、全国10州のひとつ、ガーナ国北西部に位置する）は、ガーナ国内の特に貧困地域といわれる北部3州のひとつとして、5歳未満児の死亡率が全国平均の約2倍にあたる208（2003年ガーナ人口保健調査、1000出生あたり）に上るなど保健関連指標の低さと他州との格差が大きな問題となっており、それは、基礎的保健サービスの低さにその原因があるとされている。

保健サービスが行き渡っていない問題は、ガーナ政府の貧困削減戦略文書や日本政府の対ガーナ国別援助計画の中でも重点分野である「貧困地域における基礎生活環境の改善」の1つとして、取り組むべき重要な開発課題に位置づけられている。このため、本プログラムは農村部の地域保健医療サービスへのアクセスと質の向上及び住民参加による健康改善活動の促進によって同州住民の健康状態を改善することを目的としている。

2. 協力プログラム概要

(1) 目標：アッパーウエスト州の住民がよりよい医療を受けられる。

ガーナ国の上位の政策とのかかわりは以下の通り。



(2) 期間：2005年－2009年

(3) コンポーネント：

- 1) CHPS（後述）の拡充とレファラル体制の改善のため、ソフト面での支援により住民の基礎的保健サービスのアクセスが向上する（技術協力プログラム）
- 2) 病院、ヘルスセンターの医療サービスの改善、レファラル体制やCHO（Community Health Officer）養成に必要な施設設備が充実する（無償資金協力）
- 3) コミュニティレベルでの健康改善にかかる活動が促進する（JOCVの派遣）
- 4) プログラム実施のための中央レベルでの調整、関連制度や制度への結果の

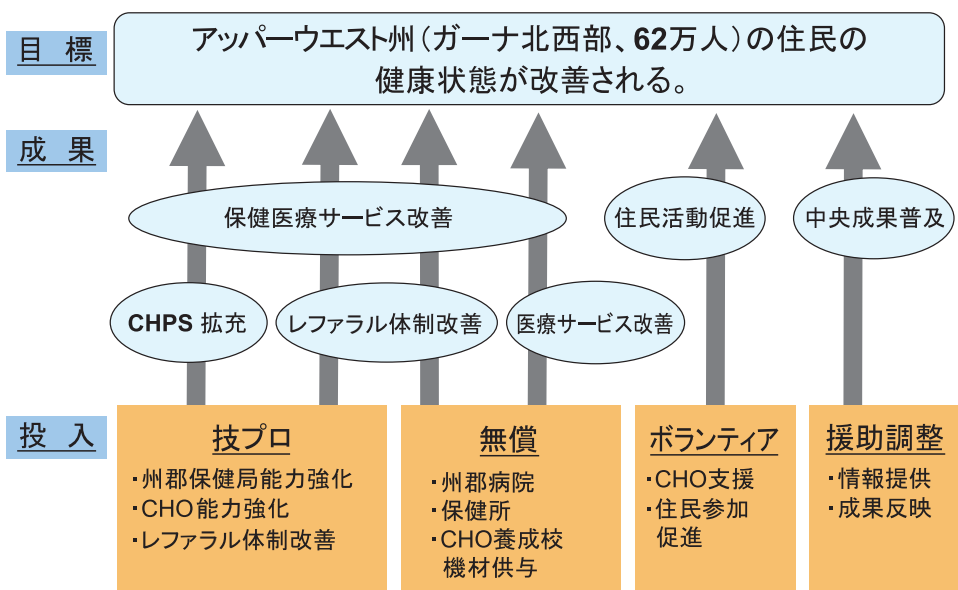
⁴ 調査研究「事業マネジメントのあり方」（テーマ1）第3回研究会報告資料

フィードバックがなされる（援助調整専門家）

(4) 目標達成までのシナリオ：

本プログラムでは、2006年度からステージ1郡（州内8郡中2郡）において、技術協力プロジェクトを先行して開始させCHPS (Community Based Health Planning and Service：保健所の下位施設であるヘルスポスト。本施設を拠点に、常駐のコミュニティ保健師が各戸を巡回し、基礎的保健サービスを提供する。)の拡充へのソフト面の支援を行なう。同時に、同州の別の郡において本プロジェクトと連携を図りつつ、JOCVにより住民参加の健康改善活動の促進を行なう。また、2007年度から無償資金協力により、同郡を含めて全州対象に、CHO養成校の教育機材、病院・ヘルスセンターの医療機材、CHPSを含めたレファラル関連機材の供与を行なう。レファラル体制については技術協力プロジェクトによるソフト面からの支援も行なう。技術協力プロジェクトと無償資金協力については、プログラム成果において相乗効果が期待され、技術協力プロジェクトとJOCVはプログラム目標レベルにおける相乗効果が期待される。これは、JICA事業の連携により、特定地域内でパイロット的な事業となり、成果にしたがって、2008年度からは、ステージ2郡（残り6郡）に対して、ガーナ側自助努力、個別専門家による中央政府の政策・制度へのフィードバック、及びJOCVによるCHPS活動支援を通じて、ステージ1郡の成果普及させる。なお、このプログラムは、USAIDがガーナ国の他の州（2州は終了、現在は7州で展開中）で行っている類似の医療改善事業と協力、連携し、ガーナ国全国の医療改善を上位の目標として計画されている。

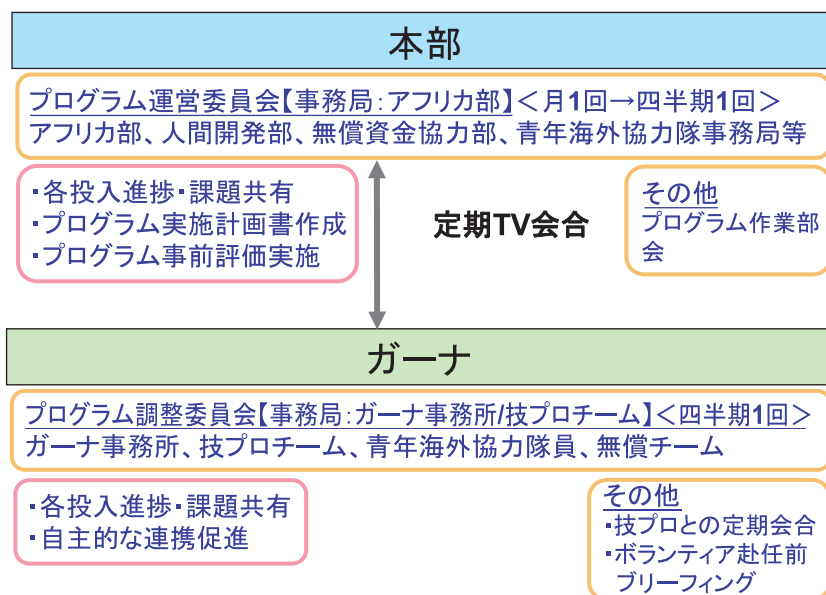
プログラム目標と各事業の関係は以下の通り。



3. 特徴

- 協力プログラムとしてスキーム横断的な案件形成・運営マネジメントを実施し、計画当初から、ガーナの JICA 事務所の関連する担当と本部の事業担当の各部署が緊密に連絡を取り合い、調整し、記録など情報の共有化に努めた。
- 既に USAID が他州の同様な医療協力を展開中であり、両者の援助が終了すると国全体の医療改善が見込まれる。

プログラムJICA側実施体制



4. 教訓と提言

- 本部関連部署との連携／情報共有

本部の関係部局と現地事務所が計画形成時から十分な情報交換や連携を TV 会議を通じ頻繁に行なった。そのため、各事業間の連携が図られた。特に、計画の手順や時期が比較的固定している無償スキームと他の事業が的確に連携することができた。

★プログラムはまだまだプログラムを構成する個々の事業単位で計画管理されているため、個々の事業を担当する本部の各部署との連携が重要である。その連携も各部署と在外事務所が個別に行なうのではなく、TV 会議などを活用し、関係部署と一緒に協議するのが良い。

- セクター調査の重要性

プログラム策定前に、現地で現地コンサルタントを活用し、医療セクター調査を様々な視点から行っている。

★セクター調査によりの確な情報を収集する。実施自体ではなく、どのような調査項目を選ぶかによりプログラムの計画精度が上がる。

★**現地の状況に詳しい現地コンサルタントの活用は、迅速で高い効果が上がる場合がある。**

- プログラム・コンポーネントの関係者の理解と協力

プログラムの中心的な事業であるプロジェクトのチーフアドバイザーが、プログラムの内容、目的をよく理解し、他コンポーネントとの連携を積極的に図った。

★**プログラムを構成する事業連携の効果は、結局は関わる専門家や相手方 C/P、JOCV によるところが大きい。日本側、相手側共にプログラムの関係者がプログラム全体をよく理解し、プログラムの目標に向かい協力できるよう情報の共有や事業実施前の十分な説明が必要である。**

参考添付資料：プログラム計画書（案）、プログラム・マトリックス、プログラム配置図

平成 18 年 11 月 6 日作成

プログラム計画書 (案)

1. 基本情報

国名	ガーナ	プログラム番号	
援助重点分野	(和) 地方・農村部の活性化 (外) Accelerating Rural Development		
開発課題	(和) 貧困地域における基礎生活環境改善 (外) Improvement of Basic Social Services		
協力プログラム名称	(和) アッパーウエスト州住民の健康改善プログラム (外) Programme for the improvement of health status of people living in Upper West Region		
期間	2005 年度 ~ 2009 年度		
全体予算額	697 (百万円)		
■技術協力プロジェクト経費	351 百万円	□研修員受入に必要な経費	百万円
□開発調査プロジェクト経費	百万円	■無償資金協力関係費	166 百万円
□フォローアップ経費	百万円	■ボランティア事業経費	180 百万円
□事業強化経費	百万円	□国民参加協力推進経費	百万円
分野課題 (中分類)	保健医療・人口		
分野課題 (小分類)	母子保健・リプロダクティブヘルス		

2. プログラム概要 (背景・目的)

プログラム対象地域であるアッパーウエスト (Upper West : UW) 州は、ガーナ国内の貧困地域といわれる北部に位置し、5歳未満児の死亡率が全国平均の約2倍にあたる208 (2003年ガーナ人口保健調査、1000出生あたり)に上るなど保健関連指標の低さと他州との格差が問題となっており、基礎的保健サービスの向上が重要な課題となっている。

本プログラムは、ガーナ政府の貧困削減戦略文書や日本政府の対ガーナ国別援助計画で重要な開発課題に位置づけられている「貧困地域における基礎生活環境の改善」への取組みの1つであり、農村部の地域保健医療サービスへのアクセスと質の向上及び住民参加による健康改善活動の促進によって同州住民の健康状態を改善することを目的としている。

3. プログラムの目標と具体的成果 (別添資料1: プログラムの枠組み)

【プログラム目標】 アッパーウエスト州の住民の健康状態が改善する。

【プログラム成果】

- 保健医療サービスへのアクセスと質の向上
 - 1-1 CHPSの拡充※
 - 1-2 病院・ヘルスセンターの医療サービスの改善
 - 1-3 病院・ヘルスセンター・CHPS間のレファラル体制の改善
- 住民参加による健康改善活動の促進
- 中央レベルでのプログラム成果の普及

※ CHPS (Community Based Health Planning and Service) とは、保健所の下位施設としてヘルスポストを建設し、そこにコミュニティ保健師を常駐させ、各戸を巡回し、基礎的保健サービスを提供するものである。

目標年度	2009 年	対象地域	アッパーウエスト州
------	--------	------	-----------

4. プログラムの目標達成のためのシナリオ

(プログラムの目標達成のためのシナリオ)

本プログラムでは、まず2006年度からステージ1郡 (州内8郡中2郡)において、技術協力プロジェクトを先行して開始させCHPS拡充へのソフト面の支援を行なう。同時に、同郡において、同プロジェクトと連携を図りつつ、協力隊により住民参加の健康改善活動の促進を行なう。また、2007年度から無償資金協力により、同郡を含めて全州対象に、CHO養成校※の教育機材、病院・ヘルスセンターの医療機材、CHPSを含めたレファラル関連機材の供与を行なう。レファラル体制については技術協力プロジェクトによるソフト面からの支援も行う。技術協力プロジェクトと無償資金協力については、プログラム成果において相乗効果が期待され、技術協力プロジェクトと協力隊はプログラム目標レベルにおける相乗効果が期待される。

2008年度からは、ステージ2郡 (残り6郡) に対して、ガーナ側自助努力、個別専門家による中央政府の政策・制度へのフィードバック、及び協力隊によるCHPS活動支援を通じて、ステージ1郡の成果普及させる。

※ CHO (Community Health Officer)

参考資料2

(各プロジェクト・個別案件の内容)

1. 技術協力プロジェクト：

CHPS 拡充やレファラル体制改善へのソフト面の支援によりプログラム成果に寄与する。
(具体例)

 - ・ガーナ保健サービススタッフ（州保健管理局、郡保健局）のマネジメント能力強化
 - ・コミュニティ保健師の CHPS 活動にかかる技術の向上
 - ・スーパービジョンシステム改善、レファラルシステム改善
 - ・コミュニティ保健委員会及びコミュニティ保健ボランティアの能力向上と住民参加促進（現地 NGO に委託）
 - ・CHPS 拡大への経験や教訓のシェア促進
2. 無償資金協力：

病院・ヘルスセンターの医療サービス改善、レファラル体制改善、及び CHO 養成へのハード面の支援（機材供与）によりプログラム成果に寄与する。
(具体例)

 - ・州・郡病院には帝王切開（開腹手術）が可能なレベル、ヘルスセンターには通常分娩ができるレベルの機材供与を行なう。
 - ・CHPS の重要な担い手であるコミュニティ保健師の養成校への教材の供与を行なう。
 - ・病院・ヘルスセンターにレファラル体制改善に必要な機材供与を行なう。
3. JOCV 派遣：

ステージ 1 郡においては、コミュニティの健康状態改善にかかる様々な活動を支援し、プログラム成果に寄与する。ステージ 2 郡においては、CHPS 活動への支援を行い、技術協力プロジェクトのステージ 1 郡における成果のステージ 2 郡への展開を側面支援する。
(具体例)

ステージ 1 郡においては、郡レベルを所属機関とし、安全な水の供給、衛生改善、栄養改善、生計向上など住民の健康改善活動促進を行なう村落開発普及員などの隊員を派遣し、ステージ 2 郡では、技プロのステージ 2 郡への展開を補完的に支援する保健師や看護師隊員を派遣する。
4. 援助調整（保健医療）専門家：

プログラム実施のための中央レベルでの調整、及びプログラム成果の政策・制度へのフィードバックを行なう。

(他の我が国資金協力等)

5. 指標・評価方法／指標入手方法／評価時期：（別添資料 2：プログラム PDM）
6. プログラム工程表（ローリングプラン）：（別添資料 3：プログラム工程表）
7. 人間の安全保障・グローバル・イシューとの関連

①政府レベルと地域社会の人々の双方にアプローチし、相手国や地域社会の持続発展性に資する包括的なアプローチ。

②日本の近代化の経験を踏まえ、人材育成、組織強化、制度作りへの技術的な支援を通じて、途上国の人々が能力を高め、自分たちの抱える課題を自ら解決できるようになることを目指すキャパシティ・デベロップメントのプロセスを支援。

以上により「人間の安全保障」の理念を実践する。

また、2015 年をターゲットとした、ミレニアム開発目標「5 歳未満児死亡率の削減」、「妊産婦の健康の改善」、「HIV/ エイズ、マラリア及びその他の疾病の蔓延防止」に資するものである。

8. 援助重点分野及び開発課題の概要等

【援助重点分野及び開発課題の概要】

ガーナ貧困削減戦略（GPRS）の開発目標「経済成長を伴った貧困削減」を達成するため、我が国は「地方・農村部の活性化」を重点開発課題とし、貧困地域における保健を含む基礎的生活環境の改善に取り組んでいる。

【当該国政府方針との整合性】

ガ国では、「第二次国家保健 5 ヵ年計画（2002 年～2006 年）」を策定し、「健康状態の向上と健康における不平等の削減」を目指し、(1) 保健サービスの質の改善、(2) 保健サービスへのアクセス向上、(3) 保健サービス供給の効率改善、(4) パートナーシップの育成、(5) 保健財政の改善を戦略の 5 つの柱としている。

9. 他ドナー等の活動

オランダ、DFID、DANIDA、EU、世銀等は「ヘルス・ファンド」と呼ばれるセクターファンドを行っていたが、近年は一般財政支援への移行がみられる。その他、過去に DANIDA により UW 州の半数の病院等への無線機等の供与が行われるとともに、現在 USAID により北部三州を除く州において CHPS 拡充が行われている。

10. 実施体制、国内支援体制

現地では、プログラム調整委員会（事務局：ガーナ事務所、メンバー：左記他技プロチーム・協力隊員）、国内では、プログラム運営委員会・作業部会（事務局：ガーナ事務所・アフリカ部、メンバー：左記他人間開発部・無償資金協力部・協力隊事務局・企画・調整部、国総研）を設置し、活動進捗状況の把握、情報共有、関連活動の調整を行なう。なお、各事業の手続、意思決定は各担当部署で行なう。

11. 備考

- ・戦後、医師不足に悩む沖縄の離島で住民の健康向上に取り組んだ公衆衛生看護婦の制度など戦後日本の保健医療の復興経験も活かす。
- ・重要な外部要因、他ドナー活動については、シナリオを確認していく作業の中で適宜明確化していく。

平成 18 年 9 月 28 日作成
別添資料 1

プログラムの枠組み

プログラム目標

アッパーウエスト州の住民の健康が改善される。

保健医療サービスへのアクセスと質の向上

住民による健康改善活動の促進

中央レベルへのプログラム成果への波及

CHPSの拡充

レファラル体制の改善

病院やH/Cの医療サービスの改善

住民の衛生改善
住民の栄養改善
住民の生計向上

中央政府の政策・制度への反映及び
他ドナーとの連携

技 術 部	無 償	JOCV	専 門 家
<p>プロジェクト目標： 機能しているCHPSゾーンの拡大によって、対象地域住民の良質な基礎的保健サービスへのアクセスが向上する。</p> <p>成果： 1. 州保健管理局及び郡保健局のCHPS拡充にかかるマネイジメント能力が向上する。 2. CHOおよび進取保健チーム(SDHT)の能力が向上する。 3. CHPS活動に関する監督システムが改善される。 4. CHPS、ヘルスセンター及び病院間のリファラル・カウンタリー・ファアラル体制が改善される。</p> <p>活動： ・プロジェクト合同調整委員会(JCC)の開催 ・既存CHPSの把握とレビュー ・研修の実施(RHMT・DHMT・CHN・CHO・SDHT・CHV) ・パフォーマンス・スタンダードの作成(RHMT・DHMT・CHN・CHO・CHV) ・DHMT、SDHTの作成支援 ・DHMT、郡保健委員会、他セクター、NGOや他の援助機関とCHP活動に係る支援の連携を強化するための会議(郡)CHPSフォーラムの実施 ・CHO・SDHT研修ニーズの把握及び研修用モジュール作成 ・現地NGO再委託 ・合同定例会議の開催 ・研修の実施(RHMT・DHMT・CHN・CHO・SDHT・CHV) ・CHPS活動モニタリング・評価マニュアルの作成/CHPS保健情報システムガイドラインの策定 ・スケーピング(SDHT) ・ジョイン研修(CHO) ・リファラルカウンタリー・ファアラル体制の改善支援 ・現地NGOによる住民参加促進活動実施 ・相互観察とグッドプラクティスの共有 ・本部研修の実施 ・プロジェクト合同調整委員会(JCC)の開催</p>	<p>プロジェクト目標： 1. アッパーウエスト州内の全ての郡病院、及び全ての保健所において医療サービスが改善される。 2. CHPS、ヘルスセンター、病院間のリファラル体制が改善される。 3. アッパーウエスト州にあるコミュニティ保健師養成学校の教育内容が改善される。</p> <p>成果： 1. 州/郡病院において医療機材が整備される。 2. 保健所の医療機材が整備される。 3. コミュニティ保健師養成学校において教材運送機材が整備される。 4. 保健所や郡(州)病院において無線機や救急車が整備される。</p> <p>活動： ・協力対象地域の検討、機材仕様等の検討、相手側との合意形成(基本設計調査) ・州/郡病院の活動に必要な基本的医療機材の調達、搬付 ・保健所の活動に必要な基本的な医療機材の調達、搬付 ・コミュニティ保健師養成学校の教育習熟機材の調達 ・州/郡病院の患者搬送に必要な救急車の調達 ・保健所への無線機の調達、搬付</p>	<p>プロジェクト目標： 住民参加を通じたコミュニティの健康改善活動が促進される。</p> <p>成果： 1. ステージ1郡において、住民の水・衛生・栄養等健康に関する知識が増進されるとともに、住民の健康改善活動が促進される。 2. ステージ2郡において、CHPS拡充が促進される。</p> <p>活動： ・ステージ1郡における安全な水の供給、衛生・栄養等に關する啓発及び住民参加の活動促進(村簿開発普及員・公衆衛生・栄養士等) ・ステージ2郡におけるCHPS拡充への活動支援(保健師、看護師等) ・協力隊員活動支援と配属先・他スキームとの調整(フィールド調整員)</p>	<p>プロジェクト目標： CHPS拡充にかかる政策・制度や他ドナーの活動にプログラム成果が反映される。</p> <p>成果： 1. プログラム関連情報を収集され、日本側関係者に共有される。 2. 各国保健セクターにおいてプログラムへの成果が政策・制度や他ドナーの活動に反映される。</p> <p>活動： ・プログラム定例会議でのプログラム関連情報提供 ・中央政府のCHPS拡充にかかる政策・制度へのアドハイス ・他ドナーとの連携促進</p>

平成 18 年 7 月 21 日作成
別添資料 2

プログラム PDM

スキーム	プロジェクトの要約	指標	入手手段	評価	
				事前	中間
プログラム	アップバウエスト州の住民の健康状態が改善する。	1. 妊産婦死亡率 2. 5歳未満児死亡率	1. 5年ごとにおこなわれるガーナ人口保健調査 (2008年及び2013年実施予定) 2. MICS (ユニセフ支援) 2006	2006年11月中旬以降予定	未定
	アップバウエスト州の住民の健康状態が改善する。	1. ステージ1郡で機能しているCHPSゾーン数が郡保健局の拡大計画によって増加する。 2. ステージ1郡で予防接種率、妊産婦死亡率、専門技能者の立会いによる出産の数、避妊実行率が上昇する。 3. 2郡で改善されたリファラルシステムやリファラルガイドラインが他の6郡で導入される。 4. 2009年までにステージ2郡の50%以上で効果的・効率的な監督システムが導入される。 5. 2009年までにステージ1郡で改善された住民参加方法が他の郡で導入される。	・ 郡保健局報告書 ・ モニタリング・評価報告書 (プロジェクトがモニタリング・評価方法構築)		
プロジェクト	1. 保健管理局及び郡保健局のCHPS拡大にかかるマネジメント能力が向上する。	1. RHMT及びVDHMTによるモニタリング・評価結果の活用事例数が上昇する。 2. DHMTにより郡ごとのCHPS拡大計画が毎年見直されて作成される。 3. CHPS拡大に係る郡保健局の年間予算が増加する。 4. 2007年から郡議会がCHPS拡大にかかる予算を年間予算に計上する。 5. DHMTの業務遂行能力が向上する。	・ 郡保健局報告書 ・ パフォーマンス・スタンダードによる評価 ・ モニタリング・評価報告書		2008年予定
成果	2. CHOおよび準郡保健チーム(SDHT)の能力が向上する。	1. SDHTの業務遂行能力が向上する。 2. CHOの業務遂行能力が向上する。 3. コミュニティのCHPSでつけられる保健サービスに対する満足度が上昇する。	・ パフォーマンス・スタンダードによる評価 ・ クライアント満足度調査報告書 ・ モニタリング・評価報告書		2009年予定
	3. CHPS活動に関する監督システムが改善される。	1. RHMT、DHMT、SDHT、CHOによるスーパーバイジョン結果の活用事例数が増加する。 2. スーパーバイジョン年間行動率が増加する。	・ モニタリング・評価報告書 ・ スーパーバイジョン報告書 ・ CHPS報告書		
	4. CHPS、ヘルスセンター及び病院間のリファラル・カウンタートリファラル体制が改善される。	1. リファラルガイドラインの利用度上昇。 2. 保健所及び病院へのリファラル数上昇。	・ CHPS報告書 ・ 郡病院報告書 ・ モニタリング・評価報告書		

スキーム	プロジェクトの要約	指標	入手手段	評価		
				事前	中間	終了
無償	<p>1. アップパーウエスト州内の全ての郡病院、及び全ての保健所において医療サービスが改善される。</p> <p>2. CHPS、ヘルスセンター、病院間のリファラル体制が改善される。</p> <p>3. アップパーウエスト州にあるコミュニティ保健師養成学校の教育環境が向上する。</p>	<p>保健所：「外来受診者数」、「産前産後健診件数」、「分娩件数」</p> <p>病院：「外来受診者数」、「産前産後健診件数」、「分娩件数」、「帝王切開件数」、「手術件数」、「超音波診断件数」、「血液検査数」、「献血件数」</p> <p>CHN養成関連：「実習機材を使用する授業数」、「教育機材を使用する授業数」</p> <p>リファラル関連：「受入れ紹介患者数」、「送り出し紹介患者数」</p>	<p>CHN養成校への質問表</p> <p>GISのルーチンデータ</p>			
	<p>1. 州/郡病院において医療機材が整備される。</p> <p>2. 保健所の医療機材が整備される。</p> <p>3. コミュニティ保健師養成校において教材実習機材が整備される。</p> <p>4. 保健所や郡(州)病院において無線機や救急車が整備される。</p>	<p>納入機材数、種類</p>	<p>業務月報・完工報告書</p>			
JOCV	<p>住民参加を通じたコミュニティの健康改善活動が促進される。</p>	<p>・プログラムに対する効果の言及</p> <p>・レベルを下げた指標の設定(検討中)</p>	<p>・隊員報告書</p>			
	<p>1. ステージ1郡において、住民の水・衛生・栄養等健康に関する知識が増進されるとともに、住民の健康改善活動が促進される。</p> <p>2. ステージ2郡において、CHPS拡充が促進される。</p>		<p>・隊員報告書</p>			
個別専門家	<p>CHPS拡充に関する、プログラムの成果を踏まえた、政策・制度が整備される。</p>					
	<p>1. プログラム関連情報が収集され、日本関係者に共有される。</p> <p>2. 国保健セクターにおいてプログラムの成果が政策・制度やドナーの活動に反映される。</p>	<p>プログラム定例会議(援助調整専門家、技プロ、JICA事務所、JOCV)での報告内容</p> <p>プログラムの成果に関する中央レベルでの会議での報告内容と数</p> <p>プログラムの成果が国家マニュアル、ガイドライン、研修モジュールに反映された内容と数、プログラムの成果が他のドナーの活動に反映された内容と数</p>	<p>プログラム定例会議議事録</p> <p>保健省との会議議事録</p> <p>国家マニュアル</p> <p>ガイドライン</p> <p>研修モジュール</p> <p>ドナー会議議事録</p> <p>ドナー活動報告書</p>			

平成18年9月6日作成
別添資料3

ガーナ国アッパーウェスト州住民の健康改善プログラム作業工程表 (2006 - 2007)

プロジェクト名	作業(活動)項目	2006年												2007年												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
プロジェクト名 ガーナ国アッパーウェスト州の住民の健康改善プログラム 予算: 3,800万円	プロジェクト合同調整委員会(JCC)の開催																									
	既存のCHPS活動の把握とレビュー																									
	RHMT及びDHMT研修の実施																									
	ハフォー・マン・スタンダードの作成 (RHMT-DHMT)																									
	CHPSオリエンテーションの実施 (ステージ1期)																									
	CHPS拡大計画の作成支援(第1回)																									
	郡CHPSフォーラムの実施																									
	CHO及びSDHTの研修及び研修用モジュール作成																									
	研修の実施 (CHN・CHO・SDHT)																									
	ハフォー・マン・スタンダードの作成 (CHO・SDHT)																									
	住民参加の現状分析																									
	現地NGOへの調査																									
	ハフォー・マン・スタンダードの作成 (CHV)																									
	研修の実施 (CHV)																									
	合同定例会議の開催																									
プロジェクト合同調整委員会(JCC)の開催																										
研修の実施 (RHMT-DHMT)																										
CHPS拡大計画作成の支援(第2回)																										
CHPSフォーラムの開催																										
CHPS活動モニタリング、評価マニュアルの作成																										
CHPS実施評価システムガイドラインの策定																										
研修の実施 (CHN・CHO・SDHT)																										
2006年度研修計画の作成支援 (CHN・CHO・SDHT)																										
スーパーバージョンシステムの現状分析及びガイドラインの策定																										
スーパーバージョン研修 (SDHT)																										
リファラル・カンタナー・リファラル体制の改善支援																										
スーパーバージョン結果の活用マニュアルの作成支援																										
ハフォー・マン・スタンダードの見直し (CHV)																										
CHV研修の実施																										
現地NGOによる住民参加促進活動の実施																										
合同定例会議の開催																										
相互視察とUGがプログラムの共有 (ステージ1期)																										
本邦研修の実施																										
プロジェクト合同調整委員会(JCC)の開催																										
地域感強化作 画(無償) 予算: 1.5億円																										
基本設計調査 実施																										
E/N 入力																										
責任者: 無償 国際スタッフ 納入																										
ボランティア 12名 予算: 1.2億円																										
能力開発派遣に係るプログラム調整 (フィールド調整員)																										
健康改善教材作成支援																										
「安全な水へのアクセス」のための住民組織化/村落開発委員/アフェル部																										
実施改善 収入向上																										
CHPS拡大活動支援 (ステージ2期)																										
責任者: JCC調整員 実施者: JCC																										
現地研修実施 予算: 未定																										
他ドナーとの連携促進																										

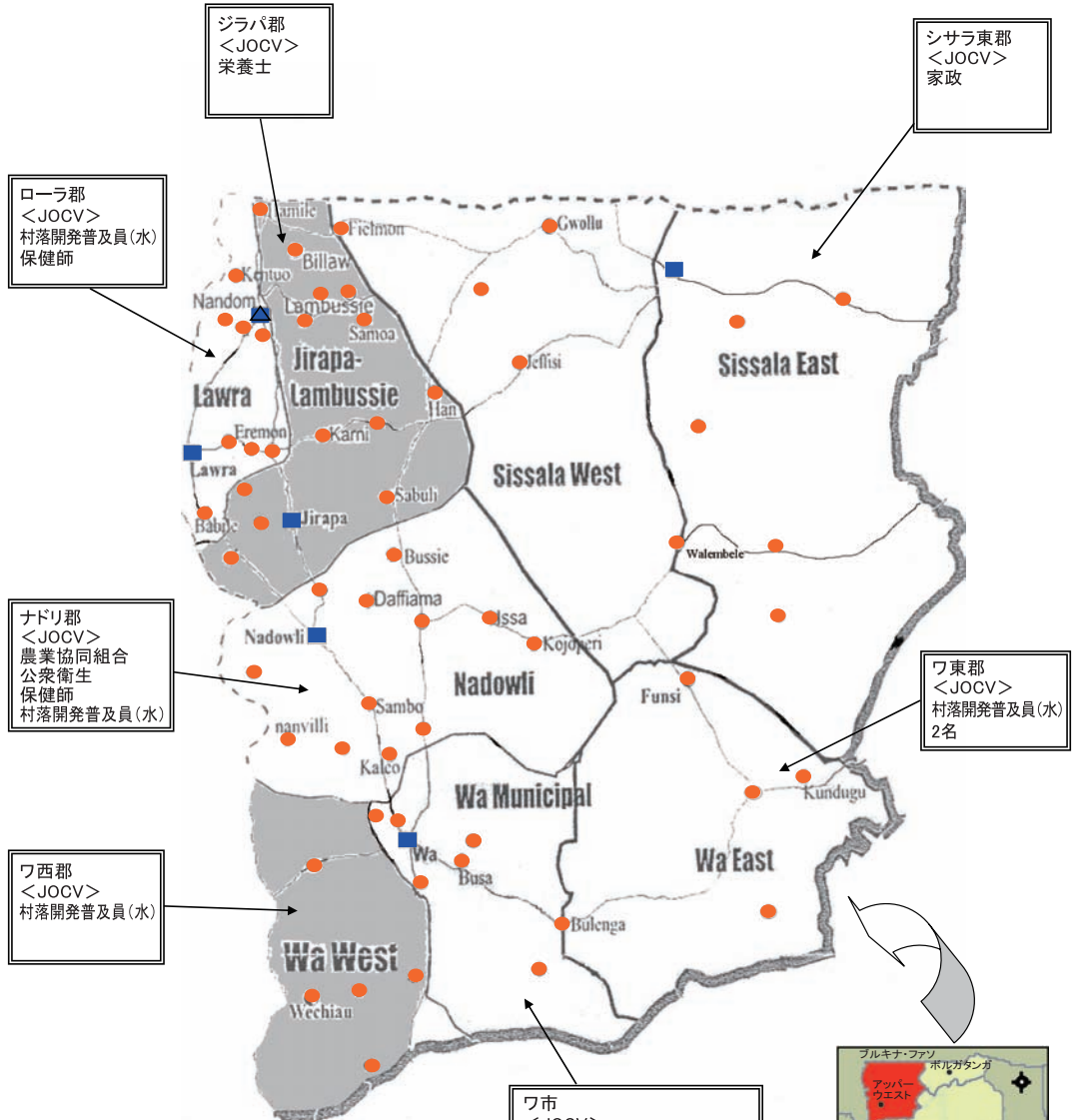
参考資料2

平成 18 年 9 月 6 日作成

ガーナ国アッパーウェスト州住民の健康改善プログラム作業工程表 (2008 - 2009)

プログラム目標	プロジェクト名	作業(活動)項目	2008年												2009年																
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
アパルハイエスタの住民が生活の質を向上させることを目指す。	ガーナ国アッパーウェスト州	中間評価の実施	←	→																											
		CHPS拡大計画作成の支援(第3回)	←	→																											
		CHPSフォーラムの開催	←	→																											
		モニタリング評価の実施支援	←	→																											
		CHPS強固性増進システムの整備				←	→																								
		研修の実施 (CHN・CHO・SDHT)				←	→																								
		2008年度研修計画の作成支援 (CHN・CHO・SDHT)				←	→																								
		スーパービジョンの実施と改善支援				←	→																								
		リファラル・カウンター・リファラル体制の改善支援及び評価				←	→																								
		CHV研修の実施				←	→																								
		住民参加促進活動の活動評価及びJINGの活動報告				←	→																								
		合同定期会議の開催				←	→																								
		相互視察とグッドプラクティスの共有(ステージ1期)				←	→																								
		グッドプラクティス展開のためのワークショップの開催(州レベル)				←	→																								
		相互視察の実施(ステージ1期、2期)				←	→																								
		グッドプラクティス経営ワークショップの実施(中央レベル)				←	→																								
		プロジェクト合同調整委員会(JOC)の開催				←	→																								
アパルハイエスタ地区保健プロジェクト(仮)予算：1,800万円																															
アパルハイエスタの住民が生活の質を向上させることを目指す。	ガーナ国アッパーウェスト州	CHPS拡大計画の作成支援(第4回)				←	→																								
		CHPSフォーラムの開催				←	→																								
		モニタリング評価の実施支援				←	→																								
		CHPS強固性増進システムの整備				←	→																								
		研修の実施 (CHN・CHO・SDHT)				←	→																								
		2009年度研修計画の作成支援 (CHN・CHO・SDHT)				←	→																								
		スーパービジョンの実施と改善支援				←	→																								
		リファラル・カウンター・リファラル体制の改善支援及び評価				←	→																								
		CHV研修の実施				←	→																								
		住民参加活動の事後調査				←	→																								
		合同定期会議の開催				←	→																								
		相互視察の実施とグッドプラクティスの共有(ステージ1期)				←	→																								
		グッドプラクティス展開のためのワークショップの開催(州レベル)				←	→																								
相互視察の実施(ステージ1期、2期)				←	→																										
グッドプラクティス経営ワークショップの実施(中央レベル)				←	→																										
プロジェクト終了調査の実施				←	→																										
プロジェクト終了調査の実施				←	→																										
プロジェクト終了報告書の提出				←	→																										
プロジェクト終了報告書への出席及び報告				←	→																										
アパルハイエスタの住民が生活の質を向上させることを目指す。	ガーナ国アッパーウェスト州	有資格者による報告書の提出																													
		協力が継続されているプログラム調整(フィールド調整員)																													
		収入向上																													
		収入向上																													
		収入向上																													
		収入向上																													
		収入向上																													
アパルハイエスタの住民が生活の質を向上させることを目指す。	ガーナ国アッパーウェスト州	収入向上																													
		収入向上																													
		収入向上																													
		収入向上																													
		収入向上																													
アパルハイエスタの住民が生活の質を向上させることを目指す。	ガーナ国アッパーウェスト州	収入向上																													
		収入向上																													
		収入向上																													
アパルハイエスタの住民が生活の質を向上させることを目指す。	ガーナ国アッパーウェスト州	収入向上																													
		収入向上																													
アパルハイエスタの住民が生活の質を向上させることを目指す。	ガーナ国アッパーウェスト州	収入向上																													
		収入向上																													

アッパーウエスト州プログラム配置図
(2006.8月現在確定済合)



技プロ	■	ステージ1郡 (2郡)
技プロ	□	ステージ2郡 (6郡)
技プロ	×	プロジェクト活動拠点
無償	■	病院 (6箇所)
無償	●	保健所 (58箇所)
無償	△	CHN養成学校
専門家	★	保健省
JOCV	□	2006.8月現在確定済合



参考資料2

2-4 インドネシア国南スラウェシ州地域開発プログラム⁵

1. 協力プログラムの戦略性強化の背景

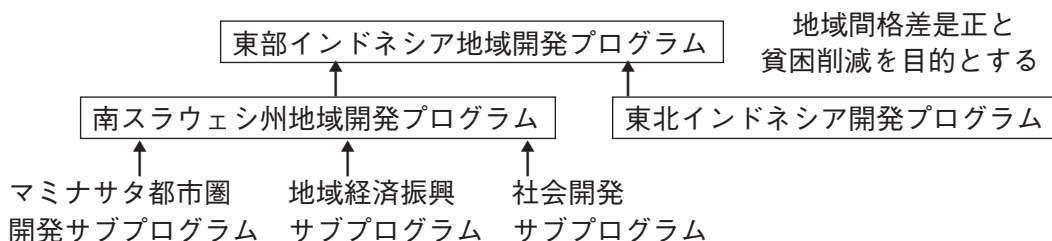
インドネシア国では、国民の生活と福祉の質の向上に目覚ましい成果を挙げてきた一方で、地域間の格差（貧富）が生じてきている。地域間の発展格差は、ジャワ及びバリ島の大都市への人口の過度な集中、環境破壊・汚染等の問題を生むとともに、後進地において社会不安・分離独立運動を引き起こす一因ともなっている。特に貧困地帯として東部インドネシア地域は国全体の中でも他地域との差は顕著であり、インドネシア政府は、地域開発を、地方分権化と共に政府が早急に取り組むべき重要な課題として第六次5カ年計画や国家開発計画（PROPENAS）の中で取り上げ、国家開発計画の重要な政策アジェンダとして、ドナー側へも支援が要請されていた。わが国は、1960年代より東部インドネシア、中でも、南スラウェシ州を中心に様々な協力を実施してきた。今まで当地域へなされた支援の実績と効果、構築された人的ネットワーク及び東部インドネシアにおける南スラウェシ州の大きな役割が認識され、地方分権化支援と合わせ地域開発のための本プログラムが検討された。

JICAのプログラム事業としてクロス・セクトラル（農業や教育などのセクターを超えた）な地域開発となった背景には、今までの援助方式への反省がある。従来JICAが実施してきた対インドネシア支援は中央省庁からの要請に基づく案件の形成が主流だったため、省庁縦割りベースに、セクターごとに異なる地域を対象として協力を実施する傾向にあった。また、同じ地域で実施する協力であってもセクターを超えた連携は効果の発現までに至っておらず、案件間の相乗効果の確保という点からは、必ずしも効果的な協力とはなっていなかった。よって、地域単位で包括的に計画・実施することが、特に地方分権化の進展により、地方政府の役割・権能の強化のためにも、緊急に求められていた。

2. 協力プログラム概要

(1) 目標：南スラウェシ州の開発を通じた貧困削減の促進

プログラムは3つのサブプログラムに分かれ、プログラムの上位には、東部インドネシアの開発（格差是正、貧困削減）を置いている。



⁵ 調査研究「事業マネジメントのあり方」（テーマ1）第5回研究会報告資料

(2) 期間：2005年－2011年（一応、ローリングプランでは6年間が記入されているが、2015年、あるいはそれ以上を見据えた事業計画である）

(3) コンポーネント：

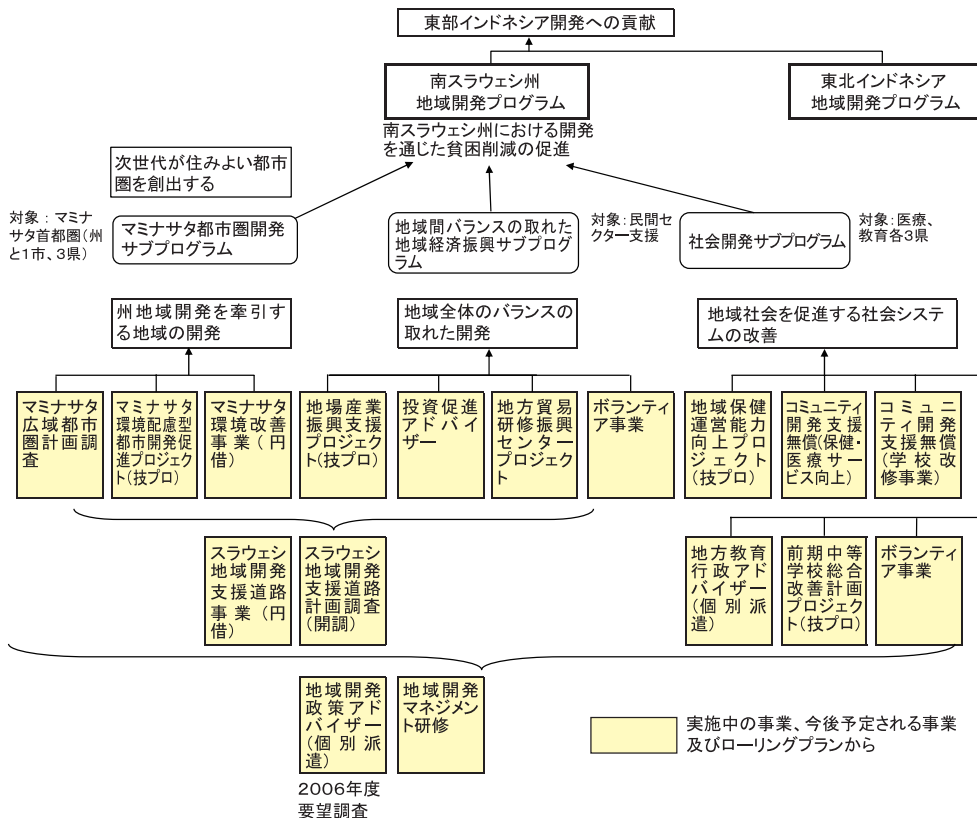
本プログラムは3つのサブプログラムからなる。

(1) 「マミナサタ都市圏開発」サブプログラム 地域の発展を牽引する都市部の開発：都市環境整備、都市交通整備、民間事業化支援

(2) 「南スラウェシ州経済振興」サブプログラム 地域全体のバランスの取れた開発：地場産業の振興、生産・加工・流通システムの強化、貿易振興

(3) 「社会開発促進」サブプログラム 社会開発の推進：地域の保健衛生、地域教育システムの普及、社会開発（特に教育、地域保健、村落開発）分野に集約したJOCV派遣

サブプログラムの目標とコンポーネントの構成



(4) 目標達成までのシナリオ

次の3つのアプローチに基づき3つのサブプログラムが相互に連携を取りながら、地域全体の開発をすすめる。

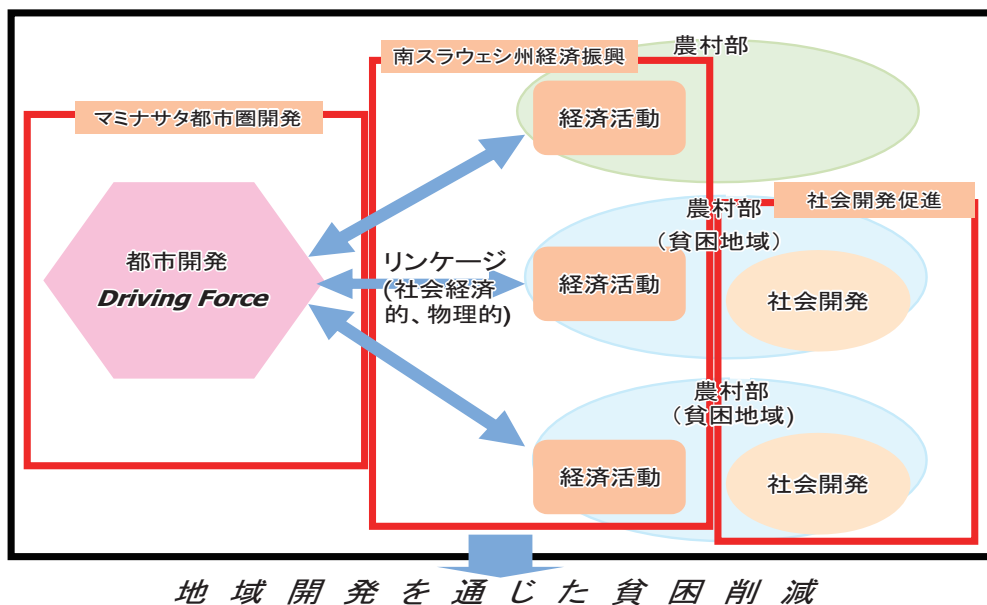
参考資料2

< 3つのアプローチ >

- (1)都市部開発 + 農村部開発の有機的連携（都市部と農村部の地域間連携による相乗効果、州総体としての発展）
- (2)地方行政と地域社会への複層的アプローチ（地域社会への直接的な裨益効果と地方行政による成果の波及の双方を重視。）
- (3)プログラムの全体開発構想（州政府の開発計画との整合性）に基づき、実施にあたって各案件間の連携を可能な限り促進。

特に、他のサブプログラムより実施が先んじている「マミナサタ都市圏開発サブプログラム」は州都であるマカッサルを中心に都市機能を充実させ、環境に配慮し、また住民が住みよい都市圏づくりを目指すと同時に、州全体の経済の牽引役となるよう、州政府及び関連する3の県と市のレベルの行政官のキャパシティ強化、制度構築も行なう。州の農村部は「社会開発促進サブプログラム」で教育と医療分野を中心に、コミュニティレベルでの能力強化を図り、さらに、州全体の経済の活性化に向けて、州の地方のコミュニティと都市部を地場産業の振興「地域経済振興サブプログラム」でつなぐ構想である。

プログラムイメージ



3. 特徴

- 相手国と共に開発計画（本プログラム）を作りながら、日本の援助を中心にプログラムのシナリオが作られた。
- クロス・セクトラルな地域開発は、事業のカバレッジの広さ、地域事務所、重層的な目標設定など、多くの点で先進的な試みがされている。

- 南スラウェシ州という地域を絞り込んだ上で、重点課題を見出し、上のプログラム（ここでは東部インドネシア）との関連で計画を作成している。
- 国内に地域事務所（マカッサル・フィールド・オフィス：MFO）の設置による州の関係者との緊密な関係を作り、マネジメント体制を拡充している。
- 相手国 C/P との密接なやり取りによる高い CD 効果を目指している。

4. 教訓と提言

- 計画時からの協議

相手側である南スラウェシ州の計画局と、計画作りから協議を続け、それにより、徐々に相手側の意識を変え、さらに相手側のオーナーシップの向上につながっている。

★計画時からの相手側との協議を重視する。

- MFO の設置とプログラムマネジャーの配置

多くの関係者を巻き込みかつ多くの事業を管理するためには、プログラム専任の職員あるいは専門家を置き運営管理する。相手側実施機関が地方の州の場合、援助する側も中央に居たのでは、十分に協議をする事ができない。

★地方自治体を対象とする場合、プログラム内容を十分に協議し実施するため、相手側と同じ目線、同じ環境に援助側も自らをおき、密接な連携ができるように努力する。

- 重層的また遠い将来を見据えた計画作り

南スラウェシ州の位置づけを州自体の開発の重要性と共に、東部インドネシア地域の中の役割、また、それまでの日本の援助の経験から引き出される優位性に注目して計画が作られてきた。援助のアプローチとして(特に上記の(2))行政とコミュニティの両方へのアプローチを行い、上からと下からの開発を同時に進めている。

★計画の方向性が明確で、プログラムの位置づけが明確である。

★CD の視点が活かされ、コミュニティレベルと行政レベルの双方に働き掛ける援助手法が使われている。

- 実施可能性とプログラム規模に関する注意

一方で、全体の方向性は、貧困削減、そのための東部地域、さらにその中の南スラウェシ州、さらに3つのサブプログラムと、順を追って理解される半面、個々のサブプログラムを構成する事業計画の詰めが具体化されていない。相手国と共有できる将来像ばかりではなく、当面の実施可能な事業目的や責任範囲をリソースの可能性と共に検討する必要がある。

★プログラムの方向性ばかりではなく、実施及び目標の達成可能性(「貢献」であっても)を十分検討した上で、できるだけ具体的な内容を実施期間を明確にして計画する。